2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	ビジネス実務Ⅰ			教員名	青木　貴宏
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	ビジネス文書の様々な決まりや型を学び、情報を正しく伝達することができる技術を身につける。さらに、社会で必要となる適切な文書が作成できる活用力を習得する。
2．科目の 到達目標	① Word の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② 社内文書、社外文書、ビジネスメールを理解できる ③ 目的に応じたビジネス文書を自ら作成できる

3．科目の内容 （各週毎）	
第１週	ビジネス文書の構成
第２週	社外文書と社内文書の特徴
第３週	表の作成・表の詳細設定
第４週	表を用いたビジネス文書の作成
第５週	実践 Drill１・２
第６週	ワードアート・図形の挿入
第７週	図形の編集・地図の作成
第８週	ワードアート・図形を用いたビジネス文書作成
第９週	チラシの作成
第１０週	レポートの作成方法の習得
第１１週	実践 Drill３・４
第１２週	Excel を活用したビジネス文書の作成
第１３週	ビジネスメールの特徴の理解
第１４週	ビジネスメールの書き方の習得
第１５週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	出席・態度	３０％
	定期試験の評価	７０％
	合計	100%

5．テキスト	「実践ドリルで学ぶ　Office　活用術」（noa 出版）
6．参考文献	
7．履修上の 留意事項	欠席した場合や、授業で実施した箇所まで実施できなかった場合には、各自実施しておく。
教員実務経験	■有　□無

2026 年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	ビジネス実務Ⅱ			教員名	青木　貴宏
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	ビジネス文書の様々な決まりや型を学び、情報を正しく伝達することができる技術を身につける。さらに、Excel を活用し効率よく文書が作成できる実践力や活用力を習得する。	
2．科目の到達目標	① Excel の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② 適切に関数を活用し文書を作成できる ③ 目的に応じたビジネス文書を自ら作成できる	
3．科目の内容（各週毎）	第１週	書式を設定した見やすい表の作成
	第２週	計算式を活用した表の作成
	第３週	関数の習得
	第４週	関数を活用した表の作成
	第５週	関数を活用した表の作成（応用問題）
	第６週	伝わるグラフの作成
	第７週	実践 Drill１
	第８週	フィルターオプションを活用したデータベースの習得
	第９週	ピポットテーブルの基礎の習得
	第１０週	実践 Drill２
	第１１週	見積書・請求書の作成
	第１２週	領収書・納品書の作成
	第１３週	家計簿の作成
	第１４週	勤務表の作成
	第１５週	期末試験（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席・態度	３０％
	定期試験の評価	７０％
	合計	100%
5．テキスト	「実践ドリルで学ぶ　Office　活用術」（noa 出版）	
6．参考文献		
7．履修上の留意事項		
教員実務経験	■有　□無	

2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務　■デザイン	
授業科目名	Web 制作応用Ⅰ			教員名	曽我　政年
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	CMS の仕組みを理解し、WordPress を用いてサイトを制作する。
2．科目の 到達目標	① サーバー契約を行い、WordPress をインストールする。 ② WordPress を使いオリジナルのサイト制作を行う。

3．科目の内容 （各週毎）	
第１週	１年次の復習
第２週	レシポンシブサイトの基礎知識
第３週	レシポンシブサイトの知識と演習
第４週	ＣＭＳの現状と仕組みについて
第５週	サーバー契約を行う。
第６週	WordPress のインストールと設定
第７週	テーマとプラグインのインストール
第８週	固定ページ、投稿ページの作成
第９週	サイト作成の基礎講座
第10週	オリジナルサイトを制作（ラフスケッチ制作）
第11週	オリジナルサイトを制作する
第12週	オリジナルサイトを制作する
第13週	オリジナルサイトを制作する
第14週	作品の講評
第15週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	授業中に行う演習における理解度	50%
	授業中の態度	50%
	合計	100%

5．テキスト	ゼロから学ぶ はじめての WordPress 第２版 ［バージョン 6.x 対応］ （SB クリエイティブ）
6．参考文献	なし
7．履修上の 留意事項	一度講義を休むと授業進行についていけなくなるため、授業には遅刻、欠席をしないように注意すること。
教員実務経験	■有　□無

2026年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務　■デザイン	
授業科目名	Web 制作応用Ⅱ			教員名	曽我　政年
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	近年企業サイト制作に広く用いられるようになった CMS の中でも、もっとも多く用いられる WordPress の概要と仕組みを、演習を通して理解する。
2．科目の 到達目標	① WordPress のテーマを用いて企業サイトを作成し、 サイトの編集を自由に行えるようにする。
3．科目の内容 （各週毎）	第１週　ギャラリーページの作成 第２週　ウィジェットの利用、テーマの変更 第３週　プラグインの利用１ 第４週　プラグインの利用２ 第５週　ギャラリーページ、フォームの作成 第６週　固定ページ作成 第７週　固定ページを用いて病院サイトを作成１ 第８週　固定ページを用いて病院サイトを作成２ 第９週　固定ページを用いて病院サイトを作成３ 第10週　固定ページを用いて自由なサイトを作成１ 第11週　固定ページを用いて自由なサイトを作成２ 第12週　固定ページを用いて自由なサイトを作成３ 第13週　固定ページを用いて自由なサイトを作成４ 第14週　固定ページを用いて自由なサイトを作成５ 第15週　期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	授業中に行う演習における理解度　50% 授業中の態度　50% 合計　100%
5．テキスト	ゼロから学ぶ はじめての WordPress 第２版 ［バージョン 6.x 対応］ （SB クリエイティブ）
6．参考文献	なし
7．履修上の 留意事項	一度講義を休むと授業進行についていけなくなるため、授業には遅刻、欠席をしないように注意すること。
教員実務経験	■有　□無

2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	CAD 表現技法Ⅰ			教員名	小林　弘和
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	産業界で自動車・航空機・造船・建築・インテリア・家具・雑貨・舞台美術・ファッション等において設計・製造工程等で設計図を使用する。設計図はデザイナー、製造者間で意思疎通するための設計ソフト：CAD(Computer　Aided　Design)を使用する。また、CAD による新たな利用発見を促進し、初心者でも直感的操作可能なＣＡＤオペレーションを習得する。
2．科目の到達目標	① ＣＡＤ基本操作の習得 ② ＣＡＤを通して新たな表現及び異業種ソフト連携利用法の発見 ③ 企画構想、成果物までの工程、表現が理解できる
3．科目の内容（各週毎）	第１週　CAD イントロダクション（2D・3DCAD） 第２週　基本操作１　（環境設定・線分・矩形・円・トリム・複写） 第３週　基本操作２　（尺度・着色・文字入力・印刷設定等 他） 第４週　基本操作３　（ＣＡＤによる直感的操作ドローイング） 第５週　基本操作４　（画像ファイルインポート CAD トレース） 第６週　基本操作５　（画像ファイルインポート CAD 模写） 第７週　中間課題　　（CAD　操作確認） 第８週　基本操作６　（2DCAD＆3DCAD の手法理解） 第９週　基本操作７　（3D モデル表現 基本コマンド１） 第10週　基本操作８　（3D モデル表現 基本コマンド２） 第11週　基本操作９　（3D モデル表現 基本コマンド３） 第12週　演習課題１　（３Ｄモデル指定デザイン） 第13週　演習課題２　（３Ｄモデル自由創作デザイン） 第14週　最終課題　　（３Ｄモデル最終課題） 第15週　期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	講義中の態度・出欠・理解等による評価　４０% 中間課題・最終課題の評価　６０% 合計　100%
5．テキスト	
6．参考文献	
7．履修上の留意事項	自己都合の遅刻・欠席した場合は、指定の補講や補足資料等で学習する 不明な点は、各講義中や講義後の質疑によるフィードバックによって、当日完結すること
教員実務経験	■有　□無

2026年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	CAD 表現技法Ⅱ			教員名	小林　弘和
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	昨今の産業界において3DCAD が主流であり、そのツール使い設計・製造を行う。本講義では、実社会に促した実践的デザイン・製造工程を体験し、アクティブラーニングを行う。また、AI（人工知能）を利用した CAD デザイン手法も習得し、エンドユーザーに商品説明する為のビジュアライゼーションスキルも習得する
2．科目の到達目標	① 2D/3DCAD 基本操作習得及び3D 表現及び2D 表現ができる ② 図面の見方・JIS 製図ルールの理解・作図手法の習得 ③ デジタルファブリケーションについてのアクティブラーニング ④ 企画構想・設計・プレゼンテーション、製造工程を経て実製品を生産

3．科目の内容（各週毎）	
第1週	CAD イントロダクション（2D 図面・JIS 図面の見方　理解等）
第2週	基本操作1　（CAD 環境設定・基本コマンド操作他）
第3週	基本操作2　（CAD 基本コマンド　尺度・寸法記入・印刷設定等）
第4週	基本操作3　（基本コマンド1　断面図・三面図の描き方）
第5週	基本操作4　（基本コマンド2　断面図・三面図の描き方）
第6週	基本操作5　（三面図作成・断面図・寸法記入）
第7週	中間課題　　（CAD 復習 JIS 製図確認テスト）
第8週	基本操作6　（3D 基本コマンド）
第9週	CAD 工程1（3D デザイン企画　AI アプリ等利用）
第10週	CAD 工程2（3D モデリング化1　2D 図面化　製品尺度等検討）
第11週	CAD 工程3（3D モデリング化2　2D 図面化　製品尺度等検討）
第12週	CAD 工程4（3D モデルによるデジタルファブリケーション利用等）
第13週	CAD 工程5（3D モデリング製品プレゼンテーション資料作成等）
第14週	CAD 工程6（最終成果物　製品プレゼンテーション　講評）
第15週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準（内容・評価の観点・ウェイト等）		
	講義中の態度・出欠・理解等による評価	40%
	中間課題・最終課題の評価	60%
	合計	%

5．テキスト	
6．参考文献	
7．履修上の留意事項	自己都合の遅刻・欠席した場合は、指定の補講や補足資料等で学習する 不明な点は、各講義中や講義後の質疑によるフィードバックによって、当日完結しておくこと
教員実務経験	■有　□無

2026 年度 前期	学科・コース	□T スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	映像制作演習 B-Ⅰ			教員名	曽我　政年
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	チームで課題に沿って動画を通して、撮影と編集に必要な知識を学ぶ。	
2．科目の 到達目標	① 視聴者の興味を惹きつける脚本を書く ② 脚本に沿った絵コンテを描き上げる ③ Adobe Premiere Pro を使った高度な編集技術を身につける	
3．科目の内容 （各週毎）	第１週	課題１（ワンカット、カメラワーク有､）の説明。グループ分け
	第２週	カメラポジション、アングル、Adobe Premire の基本操作
	第３週	課題撮影
	第４週	課題撮影
	第５週	課題撮影
	第６週	Adobe Premire による編集１
	第７週	Adobe Premire による編集２
	第８週	課題講評
	第９週	課題２、１と同じ条件同じグループで別動画制作（課題検討）
	第１０週	課題撮影
	第１１週	課題撮影
	第１２週	Adobe Premire による編集
	第１３週	Adobe Premire による編集
	第１４週	課題講評
	第１５週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	作品の評価	60%
	授業中の態度	40%
	合計	100%
5．テキスト	なし	
6．参考文献	映像編集の教科書（玄光社）	
7．履修上の 留意事項	授業時間外での打ち合わせ、検討が必要になるため、チームとしてのまとまりが求められる。	
教員実務経験	■有　□無	

2026年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書	■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	映像制作演習 B-Ⅱ		教員名	曽我　政年
対象学年	2	授業数　1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	エフェクト効果を活用した編集によるショートムービー制作
2．科目の 到達目標	① アングルなど工夫して効果的な撮影をする ② 効果音を入れるなど編集による演出技術を学ぶ ③ エフェクトを使った高度な編集を学ぶ

3．科目の内容 （各週毎）	
第１週	課題３ 尺が 3~5 分の自由ムービー説明。グループ分け
第２週	テーマ決定
第３週	脚本制作
第４週	脚本制作
第５週	絵コンテ制作
第６週	絵コンテ制作
第７週	絵コンテに基づく撮影
第８週	絵コンテに基づく撮影
第９週	絵コンテに基づく撮影
第１０週	絵コンテに基づく撮影
第１１週	編集
第１２週	編集
第１３週	編集
第１４週	上記作品講評
第１５週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	作品	50%
	授業態度	30%
	協調性	20%
	合計	100%

5．テキスト	なし
6．参考文献	なし
7．履修上の 留意事項	編集技術を学ぶために自習が必要
教員実務経験	■有　□無

2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書	■ビジネス実務　□デザイン

授業科目名	Excel プログラミング I			教員名	北村　伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	Excel の関数を使用するだけでなく、VBA によるプログラミングを習得することで、より複雑で高度なシステムを構築できる考え方と発想力を高めることを目的とする。
2．科目の 到達目標	① 「数式」「関数」「マクロ」「VBA」の関係性を理解する。 ② Sheet をデータベーステーブルとして活用する方法を理解する。 ③ Form で使用できるオブジェクトの役割や特性を理解する。

3．科目の内容 （各週毎）		
	第１週	「給与計算システム」作成（関数とマクロ、VBA の使い分け）
	第２週	「給与計算システム」作成（関数とマクロ、VBA の使い分け）
	第３週	---これより「売上管理システム」作成---
	第４週	「SUB プロシージャ」「変数のデータ型と宣言」「IF ステートメント」
	第５週	「Module の使用」「Form の使用」
	第６週	「実用的な Form やオブジェクト」
	第７週	Sheet をデータベースの Teble として使う概念とその方法
	第８週	Form 内の主要なコントロールの役割と使い方
	第９週	コントロールからのデータ取得とセルへのデータ入力
	第１０週	ListBox へのフィールド作成、レコード追加・データ読み出し
	第１１週	元データ用 Sheet と ListBox とのデータ連動・レコードクリック時処理
	第１２週	「ThisWorkbook」でのイベントコントロール
	第１３週	オリジナル作品を制作してみよう（同時進行）
	第１４週	---作品制作ここまで---
	第１５週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	授業に取り組む姿勢や態度の評価	10%
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価	25%
	課題作成・提出の評価	25%
	作品提出の評価	40%
	合計	100%

5．テキスト	Excel VBA プログラミング　ユーザーフォーム＆コントロール（秀和システム）
6．参考文献	
7．履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。
教員実務経験	■有　□無

2026 年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	Excel プログラミングⅡ			教員名	北村　伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	Excel の関数を使用するだけでなく、VBA によるプログラミングを習得することで、より複雑で高度なシステムを構築できるような基礎的な考え方を深めることを目的とする。	
2．科目の 到達目標	① 「Sheet」「Form」「Module」の役割と関係性を理解する。 ② 「イベントプロシージャ」と「サブプロシージャ」の違いと適切な活用方法を理解する。 ③ 実現したい機能を構築するためのシステム設計を描くことができるようになる。	
3．科目の内容 （各週毎）	第１週 第２週 第３週 第４週 第５週 第６週 第７週 第８週 第９週 第１０週 第１１週 第１２週 第１３週 第１４週 第１５週	「売上管理システム」の作成、ListBox へのフィールド作成・レコードの追加・データの読み出し ListBox 内のレコードが選択されたイベントをトリガーにして該当する文字データと画像データの連動 より高度な ListBox の使い方 外部データの読み込み・外部ファイルの画像データの読み込み Sheet をテーブルとして使用し、Form 内のオブジェクトに反映させる考え方 ComboBox へのリストデータの設定・選択されたデータをもとにした外部の画像データの読み込み VBA からフィルタオプション機能を利用する 課題：重複なしのリストデータを作成する方法をオリジナルで作成してみよう。 課題：オリジナルシステムの制作（ジャンルを問わず、あったら便利と思えるシステムを ExcelVBA で制作する） 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	授業に取り組む姿勢や態度の評価 作品作りの前向きさや創意工夫の評価 課題作成・提出の評価 作品提出の評価	10% 25% 25% 40%
	合計	100%
5．テキスト	「Excel VBA プログラミング　ユーザーフォーム＆コントロール」（秀和システム）	
6．参考文献		
7．履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。	
教員実務経験	■有　□無	

2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	データベース基礎Ⅰ			教員名	北村　伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	Access を利用してデータベースの仕組みや基礎を学び、テーブルやクエリ、マクロなどがどのように連携してデータを扱っているのかを理解する。 オリジナルの機能を追加、制作することによって、より実践的なレベルでのデータベース構築ができるくらいに理解度を深める。
2．科目の到達目標	1　データベースの概念を理解し、システムの設計・DB 構築ができる 2　Access における、テーブル、クエリ、レポート、マクロの役割と作成方法を理解する 3　検索システムを制作することによって、データベース全体の構造や処理の流れを理解する
3．科目の内容（各週毎）	第１週　データベースの概念（ﾃｰﾌﾞﾙ、ｸｴﾘ、ﾌｫｰﾑ、ﾚﾎﾟｰﾄ、ﾏｸﾛ） 第２週　クエリの抽出条件、ワイルドカード、複合条件の設定法 第３週　「商品検索システム」作成（データベースの構造とデータ活用方法） 第４週　データ型について、データのインポート 第５週　リレーションシップの設定、参照整合性、連鎖更新・連鎖削除 第６週　フォームを使用した入力と出力の方法 第７週　様々なパターンの検索方法、オリジナル検索の作成 第８週　抽出したデータをレポートとしてレイアウトし印刷する 第９週　マクロを使用したより複雑なクエリの処理 第１０週　オブジェクトの特性（ﾃｷｽﾄﾎﾞｯｸｽ、ｺﾝﾎﾞﾎﾞｯｸｽ、ﾀﾌﾞｲﾝﾃﾞｯｸｽ） 第１１週　Like 演算子、Between 演算子 第１２週　「商品検索システム」へのオリジナルの機能の追加 第１３週　作品制作 第１４週　作品制作 第１５週　期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	授業に取り組む姿勢や態度の評価　10% 作品作りの前向きさや創意工夫の評価　25% 課題作成・提出の評価　25% 作品提出の評価　40% 合計　100%
5．テキスト	60 時間でエキスパート Access2007/2010（実教出版）
6．参考文献	
7．履修上の留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。
教員実務経験	■有　□無

<table>
<tr><td>2026 年度
後期</td><td>学科・
コース</td><td colspan="2">□IT スペシャリスト
■情報メディア
□医療秘書</td><td colspan="2">■ビジネス実務　□デザイン</td></tr>
<tr><td>授業科目名</td><td colspan="3">データベース基礎Ⅱ</td><td>教員名</td><td>北村　伸司</td></tr>
<tr><td>対象学年</td><td>2</td><td>授業数</td><td>3/週</td><td>授業形態</td><td>講義・演習</td></tr>
<tr><td>1．科目の概要</td><td colspan="5">Access を利用してデータベースの仕組みや基礎を学び、テーブルやクエリ、マクロなどがどのように連携してデータを扱っているのかを理解する。
オリジナルの機能を追加、制作することによって、より実践的なレベルでのデータベース構築ができるくらいに理解度を深める。</td></tr>
<tr><td>2．科目の
到達目標</td><td colspan="5">① Access における、テーブル、クエリ、レポート、マクロの役割と作成方法を理解する。
② データベースの仕組みを理解し、データのインポートやリレーションシップなどデータテーブルの構成を理解し作成できるようになる。
オリジナルの検索システムやデータ抽出などを作成できるようになる。</td></tr>
<tr><td>3．科目の内容
（各週毎）</td><td colspan="5">第１週　「元データ」とは異なるタイプのテーブルの使用方法
第２週　ファイル形式の異なるデータのインポート（Access 形式・Excel 形式・CSV 形式・テキストデータ）
第３週
第４週　リレーションシップと参照整合性の関係（参照整合性・連鎖更新・連鎖削除）
第５週　複合キーによる主キー設定のメリットと使い方
第６週　アクションクエリの使用（作成方法と注意点）
第７週　レポート作成時のグループレベルと効率的な分類設定・表示方法
第８週　検索処理の「システム制作順序」と「実行時の処理の流れ」
第９週　検索結果の表示方法について、元データ保護の必要性とその方法
第１０週　課題：「複合検索を実現する」でオリジナルの検索方法を作成する
第１１週　メインサブフォームの仕組みと有効な利用方法
第１２週　課題：「書籍管理システム」の問題点やエラーになる危険性がある機能について考え、オリジナルの対処法を制作する
第１３週
第１４週　課題：自作のクエリやマクロを使用したオリジナル機能を構築する
第１５週　期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）</td></tr>
<tr><td>4．成績評価基準
（内容・評価の観点・ウェイト等）</td><td colspan="4">授業に取り組む姿勢や態度の評価
作品作りの前向きさや創意工夫の評価
課題作成・提出の評価
作品提出の評価
合計</td><td>10%
25%
25%
40%
100%</td></tr>
<tr><td>5．テキスト</td><td colspan="5">「60 時間でエキスパート Access2007/2010」（実教出版）</td></tr>
<tr><td>6．参考文献</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>7．履修上の
留意事項</td><td colspan="5">作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。</td></tr>
<tr><td>教員実務経験</td><td colspan="5">■有　□無</td></tr>
</table>

2026 年度 前期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	IoT 制作基礎Ⅰ			教員名	篠田　幸雄
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	超小型マイコン arduino に多様な入出力部品を接続し、電子回路組み立てと制御プログラム作成の基礎を学ぶ。その基礎知識を基に、作りたいものを自分で設定して具現化させるまでの流れを一通り経験することで、ものづくりの楽しさを知るきっかけにする。マニュアルを正確にトレースする訓練も狙う。
2．科目の到達目標	① 手順書を基に、arduino による電子工作を一通り自分で行える (対象部品を学習キットから選び出し、配線し、ソフトをインストールし、動作確認ができる)。 ② 授業で試用した部品を組み合わせて、各自のオリジナルな作品を制作する。 ③ 毎授業の当日中に、指定項目の日報メールを提出することとする。課せられたルールをきちんと守るという、卒業後の就業に備えた訓練も意識する。

3．科目の内容（各週毎）	
第１週	オリエンテーション；授業計画や目標説明、教材部品確認、等
第２週	開発環境整備・LED 点滅；Pj01 WhiteLED
第３週	デジタル出力：Pj01WhiteLED、Pj05 Active Buzzer
第４週	デジタル入力：Pj05 Active Buzzer, Pj07 Digital Push Button
第５週	アナログ入出力：Pj02 RGB LED、Pj20 Analog Rotation Vol
第６週	メロディーを鳴らす：Pj06 Passive Buzzer melody
第７週	Joystick で音を制御：Pj36 Joystick, Pj06 Passive Buzzer
第８週	明るさを検知して音を制御：Pj21Photocell、Pj06 PsvBuzzer
第９週	シリアル LED の制御：PjA7 WS2812 RGB LED
第１０週	期末作品アイデア出し、制作
第１１週	制作日
第１２週	制作日
第１３週	制作日
第１４週	展示、発表
第１５週	制作予備日（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	期末制作作品の評価 (あらかじめ公表する評価項目・基準により、提出作品を評価し採点する。評価点は５点満点で、３点以上を合格とする)	100%
	合計	100%

5．テキスト	• 解説資料：（オリジナル教材資料を作成し使用する） • 使用パーツ：Keyestudio 製「48 in 1 Sensor」＋追加部品
6．参考文献	―
7．履修上の留意事項	• 授業当日中に、指定事項記載の日報メールを受信したら、”出席”とする。 • 一回ごとに異なる入出力部品を取り上げて授業を進めるが、既出部品を組み合わせて新しい動作をさせる回もある。欠席した場合は、共有サーバーにある欠席会授業資料の内容を把握し、次回授業に備えておくこと。
教員実務経験	■有　□無

2026年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	IoT 制作基礎Ⅱ			教員名	篠田　幸雄
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	IoT 制作基礎Ⅰに引き続き、さらに多様な入出力部品をマイコン Arduino に接続し動作させて、幅広い機能を具現化できることを確認する。 学んだ基礎知識を基にした期末作品制作を通じて、オリジナルなものづくりの楽しさを知るきっかけにする。	
2．科目の到達目標	①　授業で試用した部品を組み合わせて、各自のオリジナル作品を制作する。 ②　毎授業の当日中に指定項目の日報メールを提出することとする。課せられたルールをきちんと守るという、卒業後の就業に備えた訓練も意識する。	
3．科目の内容（各週毎）	第1週	後期オリエンテーション、サーボモーターを動かす Pj45ServoMot
	第2週	明るさに応じてサーボモーターを動かす Pj21Photocell
	第3週	LED の光り方をセンサーで変化させる Pj28 Analog Ceramic Vib
	第4週	温湿度センサーと LCD で温湿度計を作る Pj40 Temp&Humid
	第5週	距離センサーと LCD で距離計を作る Pj46 Ultrasonic Sensor
	第6週	人感センサーで人の動きを検知する Pj18 PIR Motion Sensing
	第7週	マトリックス LED の点灯制御 Pj48 8x8 LED
	第8週	加速度センサーでマトリックス LED の点灯制御 Pj44 Acc Sensor
	第9週	後期作品制作のアイデア出しと絞り込み
	第10週	作品制作日
	第11週	作品制作日
	第12週	作品制作日
	第13週	作品制作日
	第14週	展示、発表
	第15週	制作予備日（授業は第 14 週まで）
4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	期末制作作品の評価 (あらかじめ公表する評価項目・基準により、提出作品を評価す採点する。評価点は５点満点で、３点以上を合格とする)	100%
	合計	100%
5．テキスト	• 解説資料：（オリジナル教材資料を作成し使用する） • 使用パーツ：Keyestudio 製「48 in 1 Sensor」＋追加部品	
6．参考文献	―	
7．履修上の留意事項	• 授業当日中に、指定事項記載の日報メールを受信したら、”出席”とする。 • 一回ごとに異なる入出力部品を取り上げて授業を進めるが、既出部品を組み合わせて新しい動作をさせる回もある。欠席した場合は、共有サーバーにある欠席会授業資料の内容を把握し、次回授業に備えておくこと。	
教員実務経験	■有　□無	

2026 年度 前期	学科・コース	□ＩＴスペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務　□デザイン	
授業科目名	マーケティング基礎Ⅰ			教員名	石井　克成
対象学年	２	授業数	１/週	授業形態	講義・演習

１．科目の概要	この科目では、マーケティングの基本概念を紹介します。 広告の仕組み、商品がどのようにして顧客の注意を引き、欲しいと思わせるかを学びます。	
２．科目の到達目標	① ビジネスの基本について習得する ② マーケティングの基本について習得する	
３．科目の内容（各週毎）	第１週	ビジネスとは
	第２週	ビジネスを考える
	第３週	マーケティングとは
	第４週	マーケティングを考える
	第５週	インターネット①（過去・現在）
	第６週	インターネット②（未来）
	第７週	ネットショップ①（ネットショップの基本）
	第８週	ネットショップ②（ネットショップを比較する）
	第９週	ホームページの役割
	第１０週	SNS①（SNS の基本）
	第１１週	SNS②（SNS を比較する）
	第１２週	WEB マーケティングとは
	第１３週	ケーススタディー①
	第１４週	ケーススタディー②
	第１５週	期末課題提出（授業は第 14 週まで）
４．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席・授業中の態度	５０％
	期末課題の評価	５０％
	合計	100%
５．テキスト	必要に応じて資料配布	
６．参考文献	必要に応じて資料配布	
７．履修上の留意事項	本授業では、演習を中心として授業を進めていきます。 学生自身で考えながらマーケティングについて理解を深めていく手法を取っています。	
教員実務経験	■有　□無	

2026年度 後期	学科・コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書	■ビジネス実務　□デザイン

授業科目名	マーケティング基礎Ⅱ			教員名	石井　克成
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	本講座は演習を中心にした講座であり、期末課題は講座の中で構築した WEB マーケティングツールの発表となります。 また、AI を活用したマーケティング手法についても実践してもらいます。
2．科目の到達目標	①　マーケティングの戦略を構築できる ②　AI を活用してマーケティング戦略を構築できる ③　マーケティング戦略に基づいた基本的なツールを構築できる

3．科目の内容（各週毎）		
	第1週	マーケティング基礎Ⅰの復習
	第2週	商材選択
	第3週	商材の分析
	第4週	ペルソナについて
	第5週	ペルソナの構築
	第6週	マーケティング戦略の構築（演習）
	第7週	マーケティング戦略の構築（演習）
	第8週	マーケティング戦略の構築（演習）
	第9週	マーケティングツールの構築
	第10週	マーケティングツールの構築
	第11週	マーケティングツールの構築
	第12週	マーケティングツールの構築
	第13週	マーケティングツールの構築
	第14週	成果発表
	第15週	期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	出席・授業中の態度	50%
	期末課題の評価	50%
	合計	100%

5．テキスト	必要に応じて資料配布
6．参考文献	必要に応じて資料配布
7．履修上の留意事項	本講座は演習を中心にした講座であり、期末課題は講座の中で構築したマーケティングツールの発表となります。
教員実務経験	■有　□無

2026年度 前期	学科・コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書	■ビジネス実務　■デザイン

授業科目名	キャリアガイダンスＢ			教員名	小山　久美子
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習

1．科目の概要	キャリアガイダンスⅠを踏まえ、卒業後の進路を明確にする。 前期中に実際の就職活動を開始し、秋に内定を得ることを目標とするための対策を行う。
2．科目の 到達目標	① 自己のキャリア・将来を考える。 ② 企業研究を通して具体的な就職先を考える。 ③ ビジネス能力検定、敬語、ビジネスマナーを学びながら社会へ出るイメージを明確にする。

3．科目の内容 （各週毎）	
第１週	就活状況の確認と課題
第２週	就職先をどう選ぶか①（自分にあった企業を見つけるポイント）
第３週	就職先をどう選ぶか②（再度考えながら５社候補をあげる）
第４週	社会に出る前の不安について考える（対処法を考える）
第５週	社会人１年目の現実について（１日のスケジュール設計）
第６週	学生と社会人の違いについて（どんな社会人になりたいのか）
第７週	職場での人間関係（人との関わり方）
第８週	報連相の徹底（学生時代も活用しよう）
第９週	仕事の進め方（タスク管理や優先順位を考えてみる）
第10週	失敗に対応する（ミスをした場合の対応について）
第11週	メンタル管理（自分のストレス対処法）
第12週	３年後、５年後どうなっていたいか（キャリア設計）
第13週	個別対策（面接練習、自己 PR、志望動機の作成等）
第14週	個別対策（面接練習、自己 PR、志望動機の作成等）
第15週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）

4．成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）		
	課題提出	２５％
	授業姿勢	２５％
	出席率	５０％
	合計	100%

5．テキスト	ビジネス能力検定３級」公式テキスト・問題週
6．参考文献	「ぎふ企業ガイドブック」「岐阜県就職情報誌 MY PLAN 」「社会人１年目ビジネスマナーの教科書」
7．履修上の 留意事項	自己都合により欠席や遅刻をした場合は必ず内容把握すること。PC 各自用意。
教員実務経験	■有　□無